

日本気象学会および関連学会行事予定

行事名	開催年月日	主催団体等	場所	備考
風災害フォーラム「21世紀を前に一強風災害の変遷と教訓―」	2000年11月6日	日本風工学会 (共催) 日本気象学会	建築会館ホール (東京都港区芝5-26-20)	
第2回 SPARC 総会	2000年11月6日 ～10日	WCRP/SPARC	アルゼンチン マル・デル・プラタ	「天気」47巻1月号
平成12年度気象研究所研究発表会「21世紀の地球科学を目指して」	2000年11月8日	気象研究所	気象研究所講堂 (茨城県つくば市長峰1-1)	「天気」47巻9月号
熱帯降雨観測衛星(TRMM)打上げ三周年記念国際シンポジウム	2000年11月28日	郵政省通信総合研究所, 宇宙開発事業団, 米国航空宇宙局 (後援) 科学技術庁	三田共用会議室 (東京都港区三田2-1-8)	「天気」47巻10月号
船舶による歴史的海上気象観測データセットの整備・利用に関するワークショップ	2000年11月28日 ～11月29日	気象庁 (後援) (財)シップ・アンド・オーシャン財団	気象庁第1会議室 (5階)	「天気」47巻10月号
第28回全日本科学機器展	2000年11月28日 ～12月1日	東京科学機器協会 日本工業新聞社 (後援) 日本気象学会	有明・東京ビックサイト	
第23回極域気水圏シンポジウム	2000年11月29日 ～30日	国立極地研究所	国立極地研究所・講堂	「天気」47巻6月号
第16回風工学シンポジウム	2000年11月29日 ～12月1日	日本学術会議社会環境工 学研究連絡委員会自然災 害工学専門委員会	日本学術会議講堂 (東京都港区六本木)	
第19回日本自然災害学会学術講演会	2000年11月30日 ～12月1日	日本自然災害学会	大宮市民ホール (大宮ソニックシ ティ・ビル内)	「天気」47巻4月号
国際シンポジウム「宇宙から見た地球環境―21世紀の地球観測を目指して」	2000年12月1日	大阪府立大学大学院工学 研究科, 宇宙開発事業団, 郵政省通信総合研究所, 米国航空宇宙局 (後援) 東京大学気候シス テム研究センター, (財)リモートセンシング 技術センター(RESTEC)	大阪府立大学 学術 交流会館多目的ホー ル (大阪府堺市学園町 1-1)	「天気」47巻10月号
第37回自然災害科学総合シンポジウム	2000年12月2日	自然災害総合研究班 京大防災研	大宮市民ホール (大宮ソニックシ ティ・ビル内)	「天気」47巻4月号
日本沙漠学会2000年度秋季公開シンポジウム「乾燥地域の環境変動―人類誕生から現代まで―」	2000年12月2日	日本沙漠学会	名古屋大学豊田講堂 第一会議室	「天気」47巻10月号
第3回東京湾海洋環境シンポジウム	2000年12月8日	東京湾海洋環境シンポジ ウム実行委員会 (共催) 日本気象学会	東京都品川区 船の科学館	
第50回理論応用力学講演会	2001年1月23日 ～25日	日本学術会議メカニクス 構造研究連絡委員会 (共催) 日本気象学会	日本学術会議講堂 (東京都港区六本木)	
極気候変動に関する第2回和達国際会議	2001年3月7日 ～9日	第2回和達国際会議実行 委員会	つくば国際会議場 (エポカルつくば) (茨城県つくば市竹 園2-20-3)	「天気」47巻5月号
第8回流れのモデル化と乱流測定に関する国際シンポジウム	2001年12月4日 ～6日	国際水理学会 (共催) 電力中央研究所 (後援) 日本気象学会	日本大学本部会館 (千代田区九段南4- 8-24)	

お詫びと訂正

本誌第47巻9月号の日本気象学会および関連行事予定表において、「第8回 流れのモデル化と乱流測定に関する国際シンポジウム」の開催日を2000年12月4～6日として紹介しましたが、2001年12月4～6日の誤りでした。関係者の方々にはご迷惑をおかけし、申し訳ありません。お詫びして訂正いたします。



教授（名古屋大学太陽地球環境研究所）の公募

公募人員：教授1名

所属部門：大気圏環境部門

研究分野：大気科学

現在当研究部門では、大気微量気体の直接観測および分光学的観測により大気圏環境の研究を行っております。さらに、実験室内での大気化学反応過程の解明や、新しい大気微量成分の観測装置の開発を行っております。今回の公募では、大気環境を太陽地球システムの中でとらえ、観測を中心とした大気化学の研究を指導的にすすめていただける方を募集します。また、大学院等の教育・研究指導に熱意をもち、全国共同利用研究所としての当研究所の任務を十分理解して共同利用の推進に意欲的な方を希望します。

着任時期：決定次第できるだけ早い時期

提出書類：履歴書、研究歴、業績リスト、主要論文別刷り、研究計画書および自薦の場合には本人につ

いて意見を述べられる方2人の氏名と連絡先を記入した書面、他薦の場合は2人の方からの推薦書。封書に「教官応募書類在中」と朱書きし、書留で送付のこと。

資格：博士の学位を有すること。

公募締切：平成12年12月8日（金）

選考：名古屋大学太陽地球環境研究所人事選考委員会の選考に基づき、同研究所運営協議会の意見を求めて、教授会において決定します。なお、該当者がいない場合は決定を保留します。

宛先、問い合わせ先：

〒442-8507 愛知県豊川市穂ノ原3-13

名古屋大学太陽地球環境研究所

所長 上出洋介

電話：0533-89-5183, FAX：0533-89-0409

E-mail：kamide@stelab.nagoya-u.ac.jp